コンタクトレンズは高度管理医療機器です。
必ず眼科医の検査・処方を受けてお求めください。

コンタクトレンズは、デリケートな瞳に直接のせて使用するものです。
瞳の安全を守るためにも、レンズの取扱いには十分注意してください。

■定期検査

コンタクトレンズを安全かつ快適に装用していただくために、眼科医から指示された定期検査を必ず受けてください。

- 調子がよくてもレンズにキズがついていたり、眼に障害をおこしていることがあります。定期検査を必ず受けましょう。
- 眼やレンズに少しでも異常を感じた場合には、ただちにレンズをはずし、定期検査のスケジュールにかかわらず、眼科医の診察を受けてください。

装用開始 → 1週間後（第1回目） → 1ヶ月後（第2回目） → 3ヶ月後（第3回目） → その後は3ヶ月毎に必ず検査をお受けください。

■ケア用品について

- コンタクトレンズの快適な装用感と眼の健康を保つために、眼科医に指示されたケア用品で、正しいレンズのケアを行ってください。
- レンズのケア方法については、ケア用品の取扱説明書をよくお読みいただいたうえ、記載された正しいケアの手順と方法を守ってください。
- 使用可能なケア用品についての詳細は、眼科医にご相談ください。

製造販売業者（輸入元）：株式会社アルファコーポレーション
名古屋市東区泉1-8-16　TEL052-971-6000
販売業者：旭化成アイミー株式会社
横浜市磯子区東町15-32　TEL045-752-5932（代）

終日装用

1ヶ月定期交換型コンタクトレンズ

Aime AView
アイミー アビュー® アスフェリックプラス
Soft Contact Lenses

医療機器承認番号 21000BZY00047000

取扱説明書

ご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

特にご注意していただきたいこと。

- コンタクトレンズやケア用品ご使用の前には、必ず添付文書をよく読み、表現や内容でわからないところがあれば必ず眼科医に相談し、よく確認してからご使用ください。
- 添付文書は大切に保管してください。

コンタクトレンズは眼に直接のせて使用するものです。コンタクトレンズやケア用品の取扱方法を誤ると、角膜潰瘍などの重い眼障害につながることがあります。また、治療せずにそれを放置すると失明してしまうこともあります。コンタクトレンズを安全に装用するために、必ず添付文書をよく読み、眼科医の指示に従い正しい取扱方法を守ってください。

- 本レンズは1ヶ月で交換するコンタクトレンズです。眼科医の指示に従い、試用期間を超えることなく、定期的に新しいレンズと交換してください。また、容器開封より1ヶ月を超えたレンズは、装用回数、日数にかかわらず絶対に使用しないで破棄してください。

【1】装用時間を正しく守ること
レンズの装用時間には個人差があります。眼科医から指示された時間内で使用し眠るときは必ずはずしてください。

【2】取扱方法を守り、正しく使用すること
レンズやケア用品の取扱方法を誤ると眼障害につながります。レンズやケア用品（特にレンズ保存ケース）は常に清潔に保ち、正しい取扱方法を守ってください。

【3】定期検査は必ず受けること
自覚症状がなく調子よく装用していても眼やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくとも眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

【4】少しでも異常を感じたら、直ちに眼科医の検査を受けること
レンズをつける前に、毎日、ご自分で目ヤニや充血がないか、またレンズをつけた後も、異物感などがないか確認し、少しでもこれらの異常を感じたら、すぐに眼科医の検査を受けてください。

日本コンタクトレンズ協会

はじめに

このたびは「アイミーアビューアスフェリックプラス」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。「アイミーアビューアスフェリックプラス」は、トータルバランスに優れた瞳に優しい終日装用の1ヶ月定期交換型ソフトコンタクトレンズです。ご使用の前に取扱説明書を必ずお読みになり、内容を十分ご理解のうえ、正しい取扱いを守ってご使用ください。

●この取扱説明書を紛失された場合は、レンズ購入先で手に入れてください。購入先にない場合は弊社までお問い合わせください。

■レンズ装用に適していない例

コンタクトレンズを使用できない、あるいは使用しない方がよい病気や環境があります。装用を開始する前に必ず眼科医の診察を受け、これらの病気の有無や環境について確認してください。なお、医師の指示や添付文書の指示を守ることができない方もコンタクトレンズの装用に適していません。

《医学的禁忌例》

◎前眼部の急性および亜急性炎症・眼感染症・ぶどう膜炎・角膜知覚低下
◎眼瞼異常・レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患・その他医師が装用不適と判断した疾患

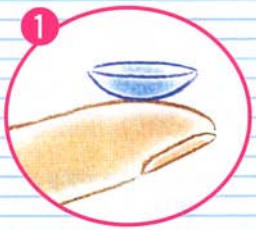
《社会的禁忌例》

◎医師の指示に従うことのできない場合　◎レンズを適切に使用できない場合　◎定期検査を受けられない場合
◎レンズ装用に必要な衛生管理を行えない場合　◎極度に神経質な場合

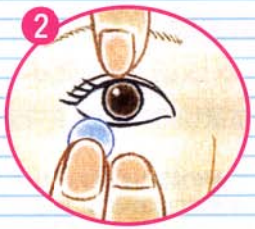
《生活環境的禁忌例》

◎常時、乾燥した生活環境にいる場合　◎粉塵、薬品などが眼に入りやすい生活環境にいる場合

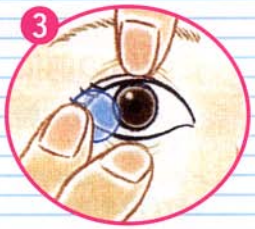
■レンズのつけ方



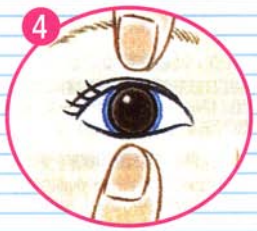
きき手の人差指の先にレンズをのせます。この時必ず、レンズの表裏を確認するとともに、レンズにキズや汚れがないか確認します。



きき手の中指で下まぶたを引き下げます。反対の手の中指で上まぶたを引き上げ、眼を大きく開きます。



レンズをゆっくりと眼に近づけ黒眼の上にそっとのせます。(この時レンズを眼に強く押しつけないよう注意しましょう。)



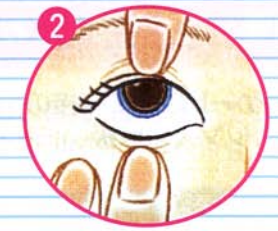
レンズが黒眼に正しくのっていることを確認してから、上まぶた、下まぶたを押さえていた指をゆっくりとはなします。

眼をゆっくりと閉じ、その後まばたきを2～3回くり返します。レンズが正しく入っていることを確認します。

★アドバイス
*手や指がぬれていると、レンズが指にくっついてしまい、うまく入りません。手指の 水分はタオルでよくふき取っておきましょう。
*まぶたを引き上げたり、引き下げたりする時は、まつ毛のはえ際を押さえると、大きくスムーズに眼を開けることができます。
*レンズをつけた後、異物感や痛みを感じる時は、レンズをはずし再度すすぎ洗いをしてから、もう一度つけ直してください。
*お化粧は、レンズを装用した後におこなってください。

■レンズのはずし方

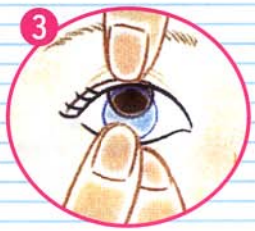
鏡をよく見てレンズの位置を確認します。



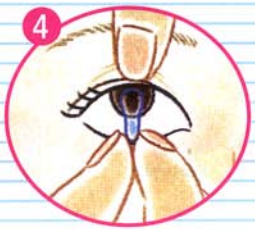
きき手の中指で下まぶたを引き下げます。反対の手の中指で上まぶたを引き上げます。

★アドバイス
*レンズが乾燥し眼にはりつくと、はずれにくくなります。はずれにくい時は、まばたきをくり返し、涙を多く出すか、人工涙液・ソフトレンズ用目薬・生理食塩水を点眼し、レンズが動くのを確認してからはずしましょう。
*レンズをはずす時は、必ず黒眼より下方の位置で取り出します。
*眼に傷をつけないために、爪を立てたり、指が直接眼に触れないように注意してください。

※この「はずし方」はソフトレンズの方法です。ハードレンズでは決して行わないでください。



そのままの状態で、きき手の人差指でレンズを黒眼から下の白眼へずらします。



レンズを下の白眼へずらしたまま、人差指と親指で軽くつまんで取り出します。

■装用スケジュール

コンタクトレンズは、はじめから長時間使えるわけではありません。下記の標準的なスケジュールに沿って装用時間を延ばして慣らしていってください。ただし、コンタクトレンズは慣れるのに個人差があります。
自分自身で眼と身体の調子を確認しながら、無理をしないで、徐々に時間を延ばしていきましょう。また、眼科医からあなたに最も合ったスケジュールの指示があった場合、その指示に従ってください。

【コンタクトレンズ装用標準スケジュール】

日数	装用時間
1日目	4～6時間
2日目	6～8時間
3日目	8～10時間
4日目	10～12時間
5日目	12～14時間
6日目以降	終日装用

◆朝起きて30分以上たってからレンズを入れるようにしましょう。
◆眠る1時間くらい前にはレンズをはずしましょう。
◆レンズをつけたまま眠ることはできません。必ず眠る前にははずしてください。

※コンタクトレンズの装着に慣れるまでには個人差がありますので、眼科医から指示された装着スケジュールをお守りください。

★装用を一時中止していて再装用する場合
何らかの事情でコンタクトレンズの装用を中止していて、再度装用を開始する場合、中止していた期間に応じて、再開日の装用時間は少なくします。1日中止していた場合、2時間減らします。2日中止していた場合、4時間減らします。1日使わない日が増えるごとに2時間ずつ減らしてください。5日以上中止していた場合全くの初日にもどり、6時間から徐々に慣らし、時間を増やすようにしてください。